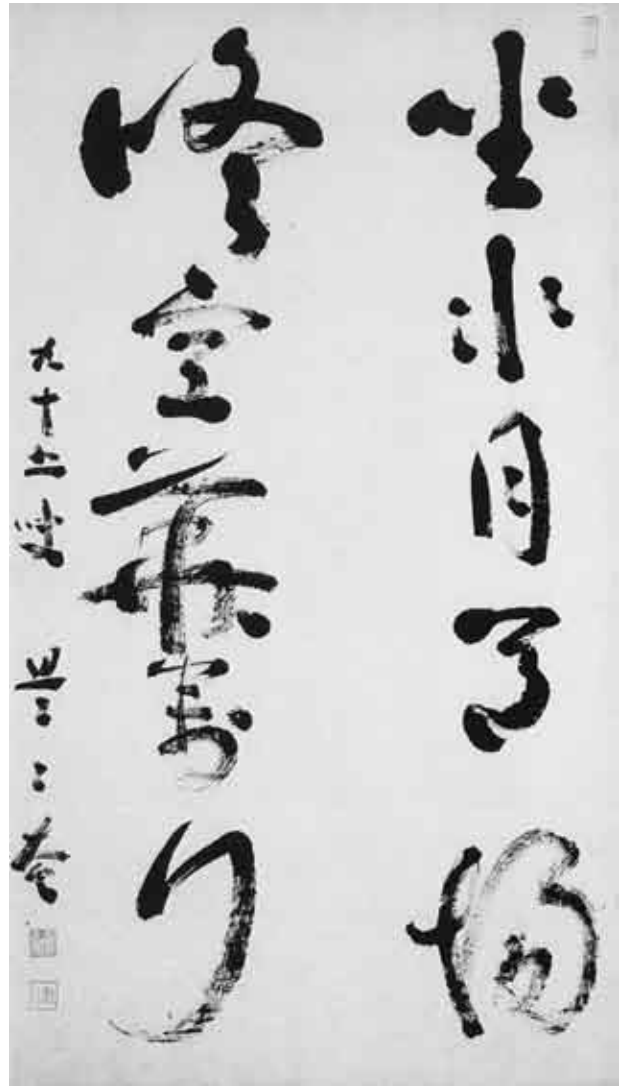

慈 恵



平成25年 夏季号

No.43

宗教法人 慈 恵 院 付属 多磨犬猫霊園



水月の道場に坐し
空華の萬行を修す

九十五叟 是々菴

淡然として時に鋭く、柔らかい穂先が自在に舞う。その濃墨のあとは、綿々密々で渴筆になっても潤い、青く澄んで限りなく淨きよい。

あつちに曲がりこつちに片寄るが、それが何とも自然で、不連続の連続であり、心そのままに風流だ。これこそ王虚舟の言う「断處皆連、連處皆断」であり、これが造化の妙というものであろう。

「禅画報」より

乞食から布施をとる

雲居が江戸にいる時のことである。たまたま街を歩いていると、路傍に一人の乞食が死んでいた。雲居はさっそく侍僧とともに、その乞食の死体の前で経を誦み、回向をしてやった。

そこから立ち去って、一、二町ばかり行った時に、雲居は侍僧に命じていった。

「あの乞食に読経して引導をわたしてやったが、布施をもらうのを忘れたわい。布施なしではあの乞食のためにもよくない。行って懐を捜して、何でもいいから取って来なさい」

侍僧はいわれたとおり戻って、乞食の懐をまさぐってみるが一物もない。ただ枕もとに水の入った、見るからに汚らしい面桶があるだけである。仕方ないので、侍僧はこの面桶を雲居のところに持っていった。

雲居はこの面桶を見ると、ぐっとその中の水を飲みほして、「さあ、これがお布施じゃ」

と、面桶を打ちすてて歩み去った。

※面桶 木で作った丸い食器のこと

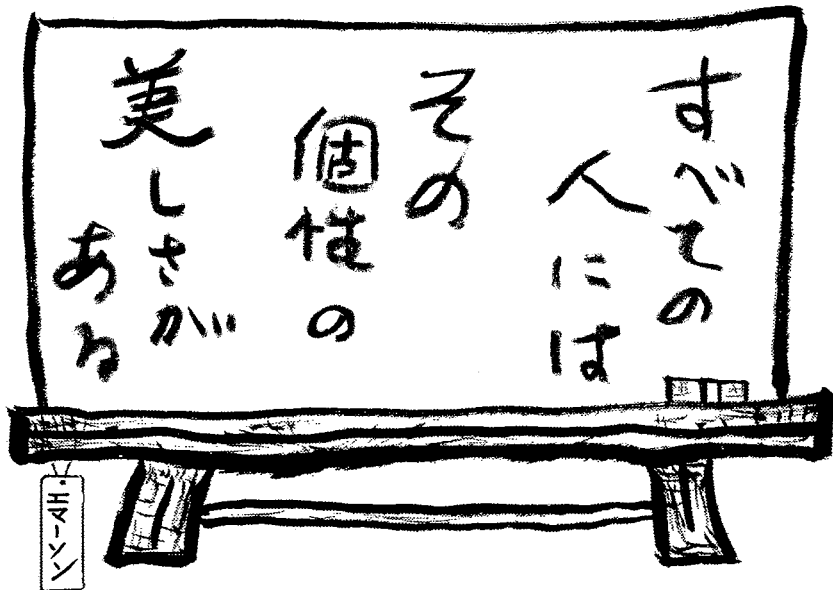
「禅門逸話集成」より

雲居 希膺 (二五八二〜一六五九)

臨濟宗。土佐の人。妙心寺一宙東黙の法嗣。

若狭小浜、摂津勝尾山に隠棲した。のち伊達忠宗の請により松島瑞巖寺に入った。

掲示板





ありがとう ラナイ

ペンネーム
西東京市 ときさだ

平成24年2月21日火曜日、あ
る一頭の犬が虹の橋をわたり、
天国へ行ってしまった。

今から7年前、17年9月の事
だった。お母さんにある一本の
電話がきた。お母さんは仕事の
関係で、ブリーダーさんとのつ
きあいがあった。

「おく、M・Kか。お願いがあ
るんだけど、ワイヤー・フォッ
クス・テリアいらへんか。」

それは、神戸のS・Iからの電
話だった。

「ワイヤーはいらない。うち、

2頭も犬いるし…。K・K(と
きさだ)だつて小ちゃいから…。」

そのあと、何回も電話がきた。

そしてついにお母さんは言った。

「わかった…。」

その時、お父さんが来た。

「だが、K・Kになにかあつた
ら返す。」

「……。」

そして、9月18日ワイヤーが

来ることになり、お父さんは待

ち合わせの場所へ…。だが、会

つてみるときたなくておくびよ

うだった。お母さんが、キレイ

にしてくれたからきたなさは、

ずいぶんおさまったけど…。や

はり、おくびよう。頭の上に手

をおこうとするだけで、目をつ

ぶつてしよぼしよぼとする。

そんな事を思っていると…私

はあることに気付いた。

「この子、名前ないんでしょ!

だったら名前きめよう。ネツ。」

名前は、「ラナイ」になった。

そして年月がながれていった。

犬が天国へ行ったり…。新しい

犬が来たり…。

本題、24年2月…に行くため

には一年前、23年8月の事を聞

いてもらわなければならぬ。

23年8月、ラナイがフラフラし、

バタツとたおれた…。ナツクリ

ングだ。

「ラナイ、大丈夫?」

それが何日か続き、お母さん達

が病院へ行ったら、水ぞうが

だった。よめい二、三ヶ月。私

は、そんな事は知らなく24年2

月20日初めて知った。

そして、その日はやってきた。

学校を早退し、帰って来たら、

もう空の上だった。

「K・Kだよ(泣)」

起きてはくれなかった…。もう、

いやだ…。そうゆう気持ちだっ

た。そして、そうぎが終わり悲

しい気持ちだ。だけど、お父さ

んがラナイのほねが入っている

ペンダントとおじゆずをくれた。

「ラナイを思い出して、感しや

の気持ちをつたえな。ラナイは

K・Kを育ててくれたんだ。命

の大切さ、生と死を…。」

その言葉は、とても心強かつ

た。次の日の学校は、いつもと

いっしょ。クヨクヨしない。ラ

ナイはいつも私といっしょ。私

を見守ってくれてる。しょうら

いはじゅう医になるゾ。

つぶやき(ぼやきかも)

by小太郎

三鷹市 藤井 隆子

体重は10キロ、年令二十一才

そう、わしはバリバリの長老の

大猫だよ。だがいいたつてノミの

心臓。家族は飼い主のおばちゃ

んと、ちよつと小意地の悪い、

八才のお姉さん猫だ。

わしは二十一才で大御所だが、おばちゃんはいつも「もうじき後期高齢者なの、大事にしてくれね」なんて言ってるが、朝起きると「おっはよう。お二人さん、今日もいい日にしよう」と高らかに宣言する。わしは元氣そうだが、ならサービスがいいぞと期待する。焼き立てのサンマかな、ピンピンはねる海老のゆでたてもいいなあ。おばちゃん

の明るい様子に期待は増して行く。だから、おばちゃんの後ばかり付いて歩く。仏様のお茶とお水上げて、何か分かんことを言つて、手を合わせている。「さつ！朝ごはんよ」と、いつものパリパリを皿に入れてくれた。これはずっと食べている。ちよつとがっかりするが、腹すいてるから腹にながし込む。同居仲間のガビは二口三口楽しく

食べている。長い尻尾を立てて御機嫌のようだ。でもわしはわしだ。娘つ子の真似などせん。

さあ一仕事して来るぞ。大して食つてないのに、出るわ出るわ。おばちゃんはすかさず片付けてくれる。「コタ、こんな大きなのが出て良かったね。今日も元氣で行こう」いそいそと楽しそうだ。はいはいそんなのでうれしければ、いくらでもひり出しますよ。

おばちゃんは「タイイン」しただけなので、おかゆである。今朝のおかゆが炊き上つて、ごはんを始めた。こつちは満足だ。一遊びする前に寝るか。おばちゃんの布団に、ゆつくりと、長々と体をのばす。いい気分だ。あれ、今日も娘つ子はかくれんぼか、新聞盛り上つて、尻尾の先つぽ見せて、ピクリとも動かない。朝飯と無事出したから、今

日もいい日にしよう。さて朝寝うーん。

このごろ、一日中ぼやいてます。飼い主

「ななへ」

町田市 樋口 清吾(9)

ねえ、なな昔大運動会してたよね。

でも去年の秋にがんという重い病気になるしくかつたよね。でも、やく8ヶ月もくるしんでぜつぼうだったよね。

そして、6月15日午前6時58分に天にのぼりくるしかつたのにいきなりすつきりして「はあ」と思ったと思います。

なのでいっぱい遊んで食べてやりたい事いっぱいしてね。

あと昔は、いっぱいふみふみしてたのに今は、すこししかや

らなくなつてきびしいです。でも15日おまえがしんじやつた時はないけれど16日になつたら前にいくときめました。

なな、今おまえらしくしてるか、らくだよな。

でも冬になんかおかしいなとおもつたら6月にいつちやつたから「あゝ」とおもいました。でも長いきましたね。

天国はしんじやつた人が一億人くらいいるけど、ぼくはおまえをさがすよ。一日かかるかもね。ケーキもいっぱい食べたね、猫は生クリームが好きだもんね。

ぼくのしょうらいのゆめは、どうぶつのいしやだよ。島田先生といつしよだよ。

おまえにあうのも80、90年ごでがまんがされるけど、がまんします。

なな、ばいばい。

ラヴィーちゃん
天国でお友だちとあそんで

ラヴィーちゃん、天国でお友だちとあそんで
いるかな。おはあちゃんの前か、アワ、ラッキーちゃんとは
会えましたか。ラヴィーちゃんが天国に行くと、1年半か
たちました。
ラヴィーちゃんは、あたしが生まれる前からおはあちゃんの家
にいたんだよ。赤ちゃんのわたしかおているとき
には守るようによりそってくれたし、せ中に馬のりになってもおこた
しなくて、泣いているときはやさしく顔をなめてくれたよ。でも、
わたしが1年生になってもわたしを子どもあつかいで「おま
り」って言うよ。えさかたいて知らん顔していたよ。大型犬なのに
14年も生きてくれたラヴィーちゃん、ありがとう。
あのね、今はラヴィーちゃんと同じゴブルテンテトソバーの
ランランちゃんという子がいるんだよ。ランランとあそび
ながら、ラヴィーのこときを思い出しているよ。わたし
たちがランランとせ会えたのはみんなラヴィー
ちゃんのこときが大好きだからだよ。また会いたいな。
あかりより

調布市 広瀬 明里(9)

愛猫アリシアの
七回忌を済ませて

杉並区 服部 壽子

先日愛猫アリシアの7回忌(平成9年5月19日生、平成19年1月30日没)を済ませた。

いつも一緒に慈恵院に行く母は今回入院で私一人のお参り。しかも読経の時もほかの方とは一緒にならずお坊さんと私だけであった。始まる前にお坊さんはアリシア名前の由来、出合いなどを静かに聞いてくださった。アリシアはアリスのスペイン語読み、出合いはある小さなベトナムトシヨップと。最初はペルシャ猫を飼う予定で行ったその店に看板猫として表から見えるケージの中にいたアメリカンショートヘア。ちよつと抱かせてもらった途端、もうわが子のように離れられない気持ちになったと。

昨日の事のようにアリシアのことを思い出しながら私は自然と涙が流れていた。お坊さんは「アリシアちゃんの寿命だったのです。ここ慈恵院では思い出してたくさん泣いていいんですよ。」と。「でも慈恵院をでたらその思いを今生きている近くの生き物を大切にすることに向けてあげて下さいね。」と。死んだ後しばらくは小さな子供の「マー」という声などがそのままアリシアの声に聞こえてどこでも涙が出て胸がつかえていた。夢でも良いから会いたいと何度思ったことか。夢の中に出てきた猫は「アリシアかな！」と思った途端アメシヨ―独自の模様はないグレーの猫になったりした。悲しいかな、未だに夢でも会えないでいる。

昔の事。同じく慈恵院、金龍殿に入っている昭和52年に亡くなったコッカスパニエル愛犬シエリーのこと。シエリーは素晴

らしい血統書を持った犬だった。が病弱で生後半年で失明。両目見えないまま16年生きた犬だ。当時食事に散歩と一番かわいがっていたのが母。シエリーが死んで1週間くらいして私は自然に夢を見た。緑の草原の小高い丘。ふさふさとした黒い毛のコッカスパニエルが長い耳をなびかせながら元氣よく喜んで駆け回っている。紛れもなくシエリーなのだ。しかし私の記憶にある白髪の盲目の老犬ではなく若く目が見えている犬。今でも鮮明に目に焼き付いている。死後の世界がどうの、こうのなどと興味もなかった頃の夢。悲しがつている母にその朝の夢を素直に話した。母はなぜ自分が見られないのかと怒った。死の直後に不謹慎だとも。今ではわかる。シエリーは私を通して幸せだと寂しがつている母に伝えてほしかったのだらうと。さて、アリシアへ。きつと心

で泣いてばかりいたから夢にも出てきてはもらえなかったのだよね。わかつてはいても早すぎたアリシアの死を思うと悲しかったのだよ。慈恵にもほかの動物の事は書いてもアリシアの事はなかなか書けなかった。今回やっと少し書けたかな。お坊さんの言葉がママの気持ちを前向きにさせてくれたのかな。7回忌を境に心を切り替えよう。だからお願いがあるのだけどもうそろそろママの夢の中に出てきてね、そしてまた楽しく一緒に遊ぼうよ。

ポン、ありがとう

昭島市 東泉 美穂子

うら暖かな2月上旬、四十九日にあたる日に府中市の慈恵院を訪れました。

15歳で天国へ旅立ったポメラニアンの雄犬ポンに別れを告げ

るために。

慈恵院入口の弁天様にご挨拶をして、霊園最奥の合同慰霊碑にお焼香しました。そこはたくさんのお花束と首輪やお菓子が供えられていました。

ポンも数多くの犬仲間と天国で楽しく過ごしていることでしょう。ポンは15年前、一人息子のたつての願いでペットショップで購入した小犬でした。そのショップで一番泣き声のけたたましい4ヶ月のキツネ似の男の子でした。息子はその子犬を本当の弟のように可愛いがり、ポンは共働きで帰りの遅い両親の穴を埋めるように、息子の心をどんなにか癒してくれたのです。

小学生だった息子も今では社会人となり、自活するようになりました。今度は一人残された母である私と毎日2〜3時間散歩をして過すようになりました。季節の小さな変化を手に取りるように感じられるポンとの散

慈 恵

歩は私にたくさんの気づきを授けてくれました。キツネ似だったポンのルックスも、まあるく可愛いらしく変わってきて、高齢期にはよく豆柴と間違えられました。

そんなボンも14才頃から白内障にかかり、直に全盲になってしまい、散歩時間も30分位に短くなってしまいました。それでもピンと背筋を伸ばして若いと言われていたのに、最後の数ヶ月は背中も丸まり、白毛も目立っていました。

ポンは越せないかと不安に思っていた去年の酷暑は乗り越えたものの、寒い冬の朝に最後に前脚で大きくバイバイをして、逝ってしまいました。

ボン、お互いに出逢えて良かったね。幸せだったね。向こうの世界でも楽しく過してね。

今日はそんな言葉を掛けて、最後のお別れをしました。

慈恵院様、いつも綺麗に清掃

してくださっていて、気持ちが良いです。売店の店員さんも「こ苦労様です」と声を掛けてくださいました。弁天様の錦鯉達、霊園内の猫ちゃん達も歓待してくれました。

ひとつひとつ、有難く心に染みしました。

動物達の遺骨と霊を大切に守りくださりありがとうございます。

我子達はすでに3匹もお世話になっております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。心の節目が過ぎました。本当にありがとうございます。



夏ごよみ

| 8 月 | 7 月 | 6 月 | |
|--|---|---|-------|
| 8 / 11 盂蘭盆会 (旧盆) | 7 / 15 盂蘭盆会 (新盆) | | 当山行事 |
| 8 / 7 立秋 ● 秋立つや何におどろく 陰陽師(蕪村) | 7 / 23 大暑 ● 足袋白く埃をさけつ 大暑かな(室生犀星) | 6 / 5 芒種 ● 伊賀山や芒種の雲の 不啻(圭岳) | 二十四節気 |
| 8 / 23 処暑 | 7 / 7 小暑 ● 空梅雨のあけて降りそむ 小暑かな(ひで女) | 6 / 21 夏至 ● 夏至も亦梅雨の隠微に 倣ふなり(相生垣瓜人) | 祝日等 |
| 8 / 15 終戦記念日 | 7 / 15 中元 7 / 15 海の日 7 / 19 土用入り | 6 / 11 入梅 6 / 16 父の日 | |
| | 8 / 6 広島平和記念日 8 / 9 長崎原爆の日 | | |

「こよみ事典」東京美術 参考

こくぶんじ動物病院 について

院長 大石 岳人

皆さんは、動物病院にどんなイメージをお持ちでしょうか？
優しいスタッフがいて、診察やペットホテル、トリミングなど動物を幅広くケアをしてくれる場所。もちろん子犬や子猫に癒されたり、楽しい事も沢山ありますが、病気で苦しんでいる動物がいたり、どんなに手を尽くしても、最期のお別れをしなればならなかったり、そんな場所でもありません。

日々様々なドラマが生まれますが、当院に関連したエピソードをいくつか紹介します。

一、現在、当院では腫瘍症例の診療に力を入れていますが、きっかけは、自分の飼い猫をがんで亡くした事でした。

大学5年の冬、飼い猫が頻繁に嘔吐するようになり、研修先の動物病院で診察してもらいました。検査の結果、腹腔内にしこりが見つかり、手術を実施。小腸に悪性リンパ腫ができていました。できる限り検査、治療に立会い、抗がん剤治療まで実施しましたが、残念ながら治療開始から3ヶ月で亡くなってしまいました。あの時に感じた自

分の無力さ、悔しさが今の診療の原動力になっています。

二、平成22年11月、開業してわずか半年で交通事故に遭いました。バイクで帰宅途中に、右折待ちしていた対向車の前方不注意でほぼ正面衝突、8m程宙を舞いました。幸い命に別条はありませんでしたが、左大腿骨2カ所および骨盤を骨折。治療とリハビリで3ヶ月半入院しました。

自分が患者の立場になって気付いた事、それは骨折した足をレントゲン撮影する時の激痛。採血や注射で毎日針を刺され、点滴が漏れた時の痛さなど。今まで自分が動物に施していた検査や治療が、こんなにもつらいものだと。まさに「我が身を つねって人の痛さを知れ」ですね。復帰後は、動物に苦痛を与えないような検査や治療を心が

けるようになりました。

三、平成23年11月、病院に4匹の子猫が運ばれて来ました。野良猫で、その中の1匹は意識不明の重体でした。必死の治療が奏功し、一命は取り留めましたが、脳に障害が残ってしまいました。視力や運動機能に問題があり、週に何回もてんかん発作を起こします。安楽死という選択肢もありましたが、必死に生きようとする姿を見て、終生面倒をみる決断をしました。

野良猫問題は国分寺市でも取り組み始めたばかり。いつの日か殺処分ゼロを達成したいですね。





知っていますか？

ロコモティブシンドローム

ながた内科クリニック

院長 永田 宏

*言葉の意味と予防法

「ロコモティブシンドローム」(運動器症候群)とは、運動器(身体運動に関わる骨、筋肉、関節、神経などの総称)の障害のために、介護が必要な状態になつてしまつた高齢者が増えていることから考へ出された、新しい言葉です。言葉の意味や予防のためのトレーニングなどについて紹介します。

運動器の障害で要介護になる高齢者
今の日本は、全人口の約22%が65歳以上の高齢者という、超高齢社会に突入しています。それに伴つて急増しているのが、介護を必要とする高齢者です。
高齢者が要介護になる原因として、脳卒中(脳梗塞、脳出血)

や認知症がよく知られていますが、実は運動器の障害が原因となるケースも全体の4分の1を占めるほどで、決して少なくないのです。

運動器の障害には、骨粗鬆症とそれに関係する骨折、関節疾患、脊髄損傷があります。しかし、多くの高齢者が心配する病気は、がんや認知症、脳血管障害、心臓疾患などで、運動器の障害については見過ごされがちです。

このようなことから、より多くの人に運動器の障害について関心を持ち、予防に努めるようになってほしい、と考へ出された言葉が、「ロコモティブシンドローム」(運動器症候群)なのです。

移動能力の低下に着目した概念
歳をとると、筋力やバランス感

覚は自然と衰えていくため、立つて歩くという移動能力が低下し、歩くのが遅くなる、転びやすくなる、ということが起こってきます。これに骨粗鬆症による骨折や、脊柱狭窄症などの運動器の障害が加わると、移動能力の低下は著しく進み、介護が必要な状態になつてしまうことがあります。

このように、加齢による運動器の障害のために移動能力が低下し、要介護になる可能性が高い状態になつていたり、すでに要介護になつている状態のことを「ロコモティブシンドローム」と呼びます(略してロコモ)。

英語で「ロコモーション」とは「移動能力」、「ロコモティブ」とは「移動能力を有する」という意味です。つまり「ロコモティブシンドローム」とは、「移動能力の障害」を意味し、移動能力の低下に着目した概念なのです。ロコモかどうかをチェックする方法には「片脚立ちで靴下がはけない」、「階段を上るのに手すりが必要である」などがあります。

チェックリストで当てはまるも

7つのロコモチェック リスト

- 片脚立ちで靴下がはけない
- 家の中でつまずいたり、滑つたりする
- 階段を上るのに手すりが必要である
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 15分くらい続けて歩けない
- 2kg程度(1ℓの牛乳パック2個程度の買い物をして、持ち帰るのが困難である)
- 家のやや重い仕事が困難である(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)

*1つでも当てはまれば、ロコモの可能性あります。

運動器の病気は主に3つある
— 高齢者の移動能力を低下させる運動器の病気は主に次の3つです。
・骨粗鬆症による骨折 骨粗鬆症とは、加齢によつて骨密度が減少し、骨がスカスカになつて、骨折しやすくなつた状態のことです。
骨折しやすいのは、背中や腰の骨、足の付け根、手首、肩の関節などです。骨折する前に、骨密度を測る検査を受けるなどして早期発見に努めることが大切です。

骨粗鬆症と診断されたら、骨密度の減少を抑える薬やビタミンDを補充する薬物療法、カルシウムなどを摂る食事療法、片脚で立って骨に体重をかける運動療法などが行われます。

・変形性関節症 加齢などによって関節の軟骨がすり減り、関節に痛みや腫れが生じる病気です。膝関節や股関節に起こりやすく、立ったり歩いたりすると痛みが生じます。治療法には、痛みを和らげる薬物療法や関節の周りの筋肉を鍛える運動療法が行われます。症状が進行し、薬物療法や運動療法で効果がない場合には、人工関節に置き換える手術が行われることがあります。

・脊柱管狭窄症 脊柱管とは、脊髄などの神経が通るトンネルで、背骨や椎間板などに囲まれています。歳をとると、背骨が変形するなどして脊柱管を狭くして神経を圧迫し、下肢の痛みやしびれなどの症状を引き起こすことがあります。これが脊柱管狭窄症です。起こる場所や腰部や頸部で、間欠跛行歩いているうちに足の痛みやしびれが強くなり、歩けなくなるが、

少し休むと痛みが治まり、また歩けるようになるなどの症状によって、立ったり歩いたりといった動きがしにくくなります。治療法には、痛みをとったり神経の血流をよくする薬物療法や脊椎の動きを制限する装具療法などが行われます。これらの治療で効果がない場合には、神経の圧迫を取り除く手術が行われることがあります。

意識的に太ももやお尻の筋肉を鍛えましょう
ロコモに含まれる人は幅広いです。前述の骨粗鬆症による骨折や変形性関節症、脊柱管狭窄症を発症している人はもちろん、すでに要介護状態になっている人もロコモです。発症の初期段階の人もロコモなら、それらの疾患にかかる可能性の高い人もロコモ、ということになります。

骨粗鬆症や変形性関節症、脊柱管狭窄症との診断を受けている人は、適切な治療を受ける必要があります。また、チェックリストで当てはまるものがあり、腰や関節に痛みがある、筋力の衰えやふらつきが日常生活に支障をきたすほど進んでいる、といった場合には、

1. 開眼片脚立ち



- 1日に3回行いましょう。
 - ①転倒しないように、つかまるものがある場所に立ちます。
 - ②右脚を上げ、左脚だけで1分間立ちます。
 - ③次に左脚を上げ、右脚だけで1分間立ちます。
- ※支えが必要な人は、机に両手や指をつけて行いましょう。

深呼吸をするペースで5～6回繰り返します。これを1日3回行いましょう。

- ①両脚を少し開いて立ちます。脚は踵から30度くらい外に開きます。
- ②椅子に腰かけるように、お尻をゆっくり下ろします。膝は曲がっても90度を超えないようにします。体重が脚の裏の真ん中にかかるようにします。

※安全のため、椅子やソファの前で行いましょう。支えが必要な人は、机に手をつけて行ってください。
(治療中の病気やケガがあったり、体調に不安があるときは、まず医師に相談してください。無理をせず、自分のペースで行い、食事の直後の運動は避けましょう。なお、痛みを感じた場合は運動を中止し、医師に相談しましょう。)

まずかかりつけ医に相談してください。脊柱管狭窄症などの運動器の病気を発症してはいませんが、チェックリストであてはまるものがあるという人は、病気とはいえないまでも、移動能力が低下している可能性があります。ロコモを予防するには、太ももやお尻の筋肉を意識的に鍛える必要があります。

2. スクワット



ぜひ、ロコモーショントレーニングにチャレンジしてみてください(イラスト参照)。
このほか、関節の曲げ伸ばし、ストレッチ、ラジオ体操、ウォーキングなどの運動も積極的に行いましょう。

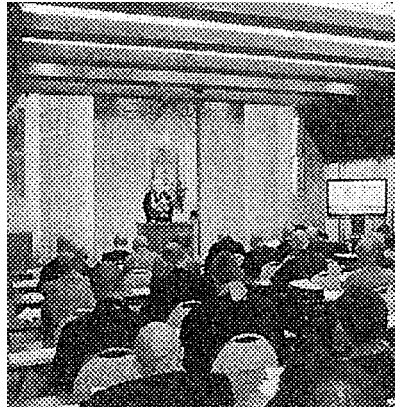


実践布教研究会
参加者の集い

第一回「実践布教研究会参加者の集い」が
仏教伝道センタービルで開かれた。

研究会での学びを共有し、今後の寺院活動
につなげていこうとするもので、各宗派の僧
侶ら三十余名が参加し熱心に意見を交わした。
当山から住職、徹道和尚が出席した。

(平成二十四年十一月二十九日)



ご朱印始めました。

(府中本山のみ)



Ⓐ

合掌とは

手と手を合わせて「し
あわせー」なんてCMも
あるが、両手を合わせて
心一つにすることです。
一般に仏に対する絶対の
帰依(信仰して仏にすが
ること)をあらわす動作
である。

合掌の正しい方法は十
指親密に胸を離れ胸前に
あつて、指頭が鼻端にく
るようにする。

合掌は、インドや東南ア
ジアでは日常の挨拶動作
である。

●本山：東京都府中市浅間町2-15-1 〒183-0001
TEL.042-365-7676 FAX.042-336-3888
URL <http://www.jikeiin.jp>

●足立別院：東京都足立区加平1-14-3 〒121-0055
TEL.03-3628-7676 FAX.03-3628-7679

編集後記

涼しさや

鐘をはなるる

かねの声 (与謝蕪村)

鐘楼で鐘をつく。ゴウンと
いう音はそのまま消えないで
ゴウン／＼と広がって行
く。その音はいかにも涼しげ
に感じる。

暑い日がつづきます。

何卒、体調にお気をつけ下
さい。

合掌

慈 恵 夏季号 No.43

平成二十五年六月一日 発行

発行者 永 田 恵 堂

編集者 長 岡 天 佑

発行所 一八三〇〇〇一

府中市浅間町二十五

宗教法人慈恵院 編集部

〇四二二三六五七七六

印刷所 山二印刷有限公司

府中市浅間町三十四一九

〇四二二三六一五二二二